平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	43002	事務事業名	ポンプ場維持管理事業	所管課	下水道課

総合計画体系（後期）			
	部	4	快適生活環境の充実
	章	3	上下水道事業の確立
	節（施策）	2	汚水の適正処理

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

公共下水道区域（宗像地区）の汚水中継ポンプ場、マンホールポンプ場、雨水排水ポンプ場の維持管理を行う。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		21,927	20,632	20,260
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	21,927	20,632	20,260
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

公共下水道区域（宗像地区）の汚水を適正に排水し、公共用水域の水質保全を図る。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
故障件数		件	3	7	8	10	7	10	10	10	10

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	適正な排水機能を維持し、設備の故障を減少させるため、計画的な保全を行う。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 故障件数が目標の10件を下回る7件であったが、20年を経過した施設で突発的な故障が発生し、緊急事態となるケースが5件あった。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	宗像終末処理場の放流先である釣川は水道水源であり、水環境を保全し改善することに市民のニーズはより高くなっていると考えられる。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	1	他に下水道事業を行うものはなく、重複はない。
有効性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	1	成果指標である故障件数が減少したため。
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	2	下水道事業は市民との協働にそぐわないと考えられるため。
効率性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	事業費を削減しているため。
公平性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	1	下水道事業計画に基づき事業を実施しているため。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	供用開始から20年を経過し老朽化が進行している汚水中継ポンプ場、マンホールポンプがあり、改築更新を含めた今後の保守の在り方を再構築する必要がある。今後とも市民生活に支障のないよう適切かつ継続した維持管理を行う。	施設の長寿命化のために事後保全から予防保全に切替える。
予算	拡充		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	要検討	全体的な更新計画の策定を検討し、計画的な維持管理を行う必要があるため、内容を「要検討」とした。
予算	維持	